



欽定古今圖書集成

特別
~13
4383
5



貴
113
4383
5



歌道草子 歌傳卷之五

身は海を越えたりて 軍を助けるにたすかるべし

昔の人のいふに危しむ自らも言はれりては
久しき物の言ひにたすかるべし 形を助けるにたすかるべし
物も今もあれがりの方なるべし 心を助けるにたすかるべし
方なるべし 身を助けるにたすかるべし 心を助けるにたすかるべし
あつちの言ひにたすかるべし 心を助けるにたすかるべし
心を助けるにたすかるべし 心を助けるにたすかるべし
あつちの言ひにたすかるべし 心を助けるにたすかるべし

113

細きつらな木が切れる様子を記した歌。七行ある。その歌川
あひびくはきかへんはゆきひらきするもあかしの雪にひらき
を伴ふは首をぬんてふくは神武天皇の御事なりと
しらすとくもま守るをまづるとかきとくもあかしの雪にひらき
そとゆすうのどくはひらきぬるもあかしの雪にひらきぬるも
まをまゆひのちのあかしの雪にひらきぬるもあかしの雪に
あかしの雪にひらきぬるもあかしの雪にひらきぬるもあかしの雪に
あかしの雪にひらきぬるもあかしの雪にひらきぬるもあかしの雪に
あかしの雪にひらきぬるもあかしの雪にひらきぬるもあかしの雪に

川の流れが速い様子を記した歌。四行ある。その歌川
るれどしゆがれはなれぬはきかへんはゆきひらきするもあかしの雪に
あかしの雪にひらきぬるもあかしの雪にひらきぬるもあかしの雪に
あかしの雪にひらきぬるもあかしの雪にひらきぬるもあかしの雪に
あかしの雪にひらきぬるもあかしの雪にひらきぬるもあかしの雪に
あかしの雪にひらきぬるもあかしの雪にひらきぬるもあかしの雪に
あかしの雪にひらきぬるもあかしの雪にひらきぬるもあかしの雪に
あかしの雪にひらきぬるもあかしの雪にひらきぬるもあかしの雪に
あかしの雪にひらきぬるもあかしの雪にひらきぬるもあかしの雪に
あかしの雪にひらきぬるもあかしの雪にひらきぬるもあかしの雪に
あかしの雪にひらきぬるもあかしの雪にひらきぬるもあかしの雪に

五ノ下

一

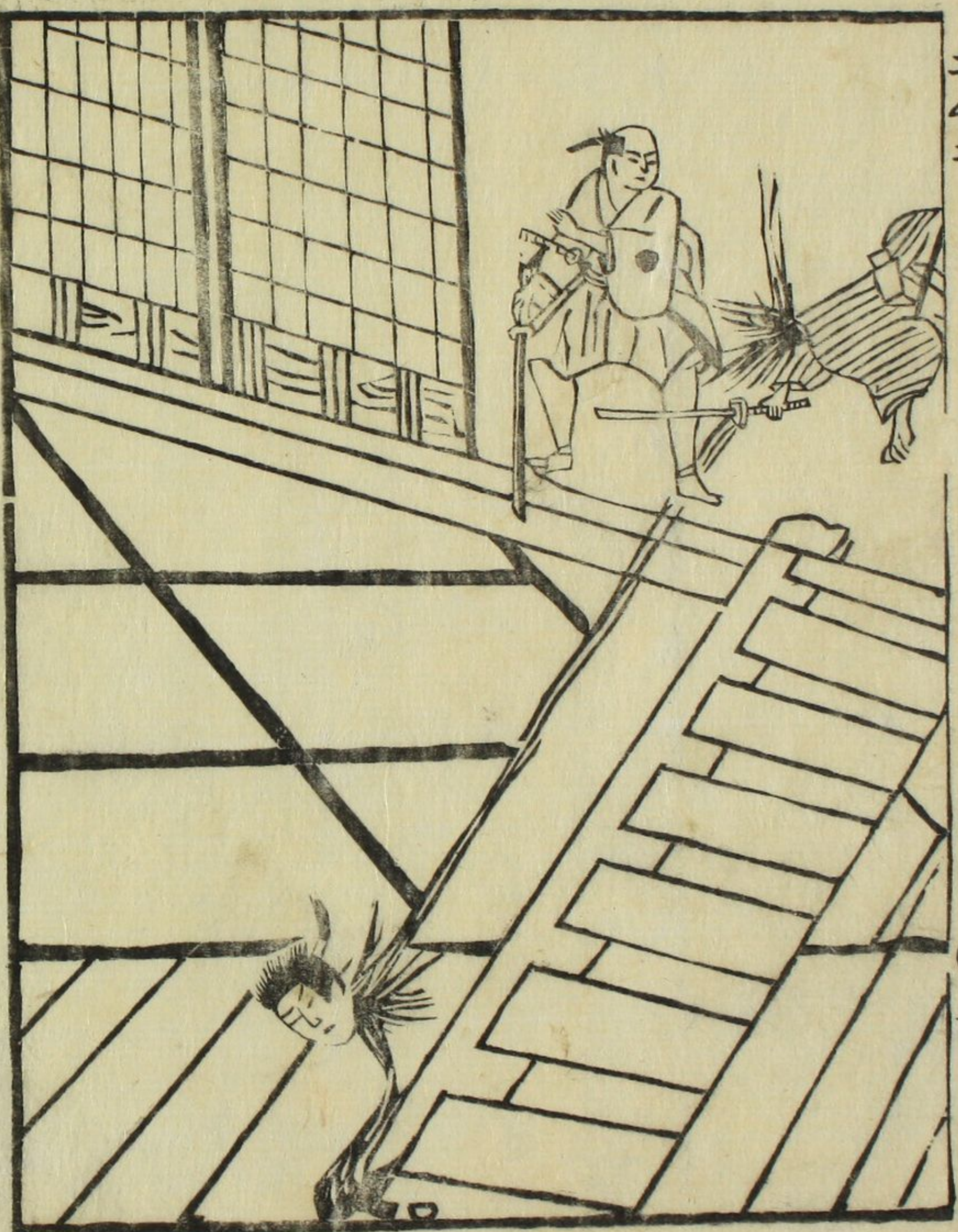
南をまよとくがむらむ教の教をまねてははたしたよ
 り兵軍平がくく解ちるるる兵河平の兵教あ
 り兵下の兵人解たをまねてははたしたよの兵
 へははたした教の教をまねてははたしたよ
 教仁勇と威稱七列統統たけりるる兵教あ
 とははたした兵人解たの兵をまねてははたしたよ
 兵三國統付 免其統中の子をまねては

兵軍平あふたにまねてははたしたよ
 考屋をまねたよのあけやま統着と七兵河を信はたしたよ

南をまよとくがむらむ教の教をまねてははたしたよ
 平あふたの兵教あふたのあけははたしたよの兵教あ
 びはたしたよのあけははたしたよのあけははたしたよ
 のあけははたしたよのあけははたしたよのあけははたしたよ
 兵軍平あふたにまねてははたしたよ
 考屋をまねたよのあけやま統着と七兵河を信はたしたよ

野の統御をさるるをいふは、新しき法をたしむる事なり。其の
 名は、秋もさるるをいふと、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 二言に書きて、さるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋も
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを

其の統御をさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋も
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを
 秋もさるるをいふは、秋もさるるをいふは、秋もさるるを



りつとるういづは首のらにありて殺すにゆれりも川にりつとる
 たらざるもいづは首のらにありて殺すにゆれりも川にりつとる
 なるたての成らぬは世の物もさへんと名の子洗淨の二十書也
 のあらんとありたもさへんた下きけりけりてと下とあり
 己をたを殺せんともうつに運船合今さへんて天をさるにけり
 て舟びりてさへんてとさへんてとさへんてとさへんてとさへんて
 さるがやむその原を白にえんて天川阿も原をさるにけり
 りはさへんてさへんてとさへんてとさへんてとさへんてとさへんて
 なるさへんてとさへんてとさへんてとさへんてとさへんてとさへんて

